

第80回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

男子オムニアム **梅澤幹太さん**

男子マディソン **梅澤幹太さん**
並江優作さん

優勝!!

オムニアム優勝 (梅澤)

マディソン優勝 (並江左、梅澤右)



マディソン (同上)

梅澤さんは「第94回全日本自転車競技選手権トラック・レース」にチームブリヂストンサイクリングA所属として男子エリートチーム・パシエートに出場し、こちらでも優勝を果たしました。

梅澤さんの今大会でのオムニアム優勝は2年連続2回目ですが「2連覇を達成できてうれしいです。連戦だったこともあり、序盤からなかなか調子が上がらない状態でしたが、最後のポイントレースは持ち前の勝負強さで逆転優勝することができました。たくさんの応援、サポートのおかげで勝の喜びもひとしおだったようです。」

「文部科学大臣杯第80回全日本大学対抗選手権自転車競技大会」(トラック)が8月29日から31日までTIPSTAR DOMECHEIBA(千葉市)で行われ、男子オムニアムで梅澤幹太さん(スポーツ総合課程3年、愛媛県立松山工業高等学校・愛媛)が優勝、男子マディソンで梅澤さんと並江優作さん(同3年、九州学院高等学校・熊本、佐賀)のペアが優勝しました。

梅澤さんは「個人戦に続いてこのペアでの優勝はとてうれしです。前日のオムニアムで不調だったので不安もありましたが、走る前から並江と作戦を何度も確認し、レース中も作戦通りの走りをするのができました」と、並江さんは「昨年のインカレマディソンでは2位と悔しい思いをしたので、今年は梅澤とペアで優勝することができてとてもうれしです。以前より力がついてきたように感じるの、来年も連覇できるように頑張ります」と、優勝の喜びもひとしおだったようです。

梅澤さんは「第94回全日本自転車競技選手権トラック・レース」にチームブリヂストンサイクリングA所属として男子エリートチーム・パシエートに出場し、こちらでも優勝を果たしました。

優勝!!

第61回全日本学生カヌー・スプリント選手権大会

男子カヤック、カナディアン、女子カヤック

8月26日から31日まで、山形県の月山湖カヌースプリント競技場で「第61回全日本学生カヌースプリント選手権大会」が開催され、本学カヌー部からも多くの学生が出場しました。見事優勝に輝いた学生とコメントは、以下の通りです。

男子カヤック「K1 1000m」の島津成彰さん(スポーツ総合課程1年、熊本県立水俣高等学校・熊本)、「K2 200m」の村橋慶太郎さん(同3年、宮崎県立宮崎高等学校・宮崎)、「上野文豪さん(同3年、高知県立嶺北高等学校・高知、滋賀)ペア。『K1 リレー』の河野成玖さん(同3年、大分県立高田高等学校・大分)、「佐々木雄信さん(同2年、熊本県立水俣高等学校・熊本)、村橋慶太郎さん、島津成彰さん。男子カナディアン「C1 2000m」の立花賢太郎さん(同1年、島根県立出雲農林高等学校・島根)、澤田幸太郎さん(同1年、大分県立高田高等学校・大分)。

女子カヤック「W4 200m」の土橋愛花さん(同4年、鹿児島県立鹿屋高等学校・鹿児島)、「川野円子さん(同1年、宮崎県立宮崎高等学校・宮崎)ペア。カヌー部の学生が複数の種目で優勝を果たす、実力を存分に発揮できた大会になりました。

男子カヤック「K1 1000m」の島津成彰さん(スポーツ総合課程1年、熊本県立水俣高等学校・熊本)、「K2 200m」の村橋慶太郎さん(同3年、宮崎県立宮崎高等学校・宮崎)、「上野文豪さん(同3年、高知県立嶺北高等学校・高知、滋賀)ペア。『K1 リレー』の河野成玖さん(同3年、大分県立高田高等学校・大分)、「佐々木雄信さん(同2年、熊本県立水俣高等学校・熊本)、村橋慶太郎さん、島津成彰さん。男子カナディアン「C1 2000m」の立花賢太郎さん(同1年、島根県立出雲農林高等学校・島根)、澤田幸太郎さん(同1年、大分県立高田高等学校・大分)。

女子カヤック「W4 200m」の土橋愛花さん(同4年、鹿児島県立鹿屋高等学校・鹿児島)、「川野円子さん(同1年、宮崎県立宮崎高等学校・宮崎)ペア。カヌー部の学生が複数の種目で優勝を果たす、実力を存分に発揮できた大会になりました。



上野 村橋 島津 (中央)

【男子K1 1000m】
たくさんの人たちの応援やカヌー部のチームメイトのおかげで、1年目にしてインカレで優勝することができ、良いスタートを切ることができました。感謝を忘れず、冬場でさらに強くなつて、また来年2連覇できるように頑張ります(島津)。



島津 (中央)

【男子K2 200m】
昨年4位という悔しい結果に終わってしまったので、今回はそのリベンジを果たせてよかったです(村橋)。昨年は悔しい思いをしたので、今年リベンジできてうれしいです。相方に感謝(上野)。



土橋 川野

【女子K1 1000m】
最後のインカレを、優勝という形で締めくくることができてうれしです。ペアの川野、支えてくださった方々に感謝します(土橋)。初めてのインカレで優勝することができ、とてもうれしく思います。高校時代から日本一を目指していたので、今回の優勝を励みにこれからも頑張ります(川野)。



澤田 立花

【男子C1 1000m】
ALLOUTでできた。相方、自分を信じて漕ぎ切ることができました。この冬パワーアップして、来年は連覇(立花)。ALLOUTできました(澤田)。来年も頑張ります(澤田)。



左から 島津、河野、村橋、佐々木

味を持つものになりました。来年は自分自身も最後の年なので、悔いのないように頑張ります(代表・河野)。

わかくさ

学内で学生からよく挨拶をされるのは、ある意味本学の伝統である。挨拶が普通になつており、私も本学に異動してきたときには、他大学ではありえないほど、はきはきとした元気いっぱいの挨拶に圧倒されたことを思いだす。ところが、ここ数年はコロナ禍での環境が影響してか挨拶をしたりされたりすることが大幅に減った感じがしている。そのせいか、なんとなく学生に元気がなく、学生間や教員とのコミュニケーションも取りづらくなつて、周りに相談できずに不安になつたり孤独になつたりしている学生も増えていくように感じる。▼学生生活面では、課外活動だけでなく学業面や生活面でも挨拶やコミュニケーションは大事であり、また就職してから職場での信頼関係の構築や雰囲気づくり、円滑なコミュニケーションを図るために今後ますます重要な場面での挨拶は重要になってくると思う。▼私自身の経験上も挨拶をしたりされたりすることから会話が始まり、仕事をスムーズに運ぶことができた経験が多々ある。ぜひ本学の学生には積極的に挨拶することを心掛けてもらい、社会人になつても職場での挨拶やコミュニケーションがとれる優秀な人材になつてほしいと願っている。(G・Y)

スポーツを愛する人たちへ

(公財)ミズノスポーツ振興財団は、「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、さらなる国民の心身の健全な発達に資する」を目的とし、その活動は55年以上にわたります。具体的には、スポーツの普及振興やスポーツの国際交流の発展に対する助成、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成、優秀なスポーツ指導者やスポーツライターを顕彰する事業などを行っており、その助成累計額は約93億円に及びます。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

今回の卒業生は、今年6月に「ソフトテニス」で身体で強くなる」という書籍を出版した兼平智孝さん、アスレチックトレーナー（以降ATと表記）だ。NSCA（全米ストレングス&コンディショニング協会）の様々な資格やJSPPO（日本スポーツ協会）のATなど20以上の資格を持っている。日本オリンピック委員会の医学強化スタッフとして働く一方、大学や専門学校で非常勤講師としての仕事もある。さらには昨年、法人を立ち上げ、現在は株式会社H-Fieldの経営者でもある。

しかし、これまでの道のりは決して直線距離ではなかったわけではない。盛岡市立見前中学校時代にはソフトテニスで全国優勝を団体で成し遂げ、岩手県立黒沢尻北高校時代は県内ではトップクラス。将来は体育大学に進んで体育教師になる夢を抱いていた。ところが好意を寄っていたところが多し。進学するはずだった大学の監督が交代したことで推薦枠から外れてしまったのだ。一浪して予備校に通う中、スポーツトレーナーという道があることを知り、専門学校、さらには通信制の短大で学び始めた。そんな時に目にしたのが、運動生理学の教科書に書いてあった鹿屋体育大学竹倉宏明博士の名前だった。自分が体験してきた気合と根性の練習とは異なる運動生理学の理論に魅せられ、3年時からの編入で鹿屋体育大学に入学。電子顕微鏡をのぞく日々が始まった。しかし、すぐに研究の世界の厳しさを実感し、自分の考えが「甘かった」と知ることになる。来る日も来る日も続けられる電子顕微鏡での筋線維観察はミクロの世界そのもので、自ら描いた臨床の現場とは全く違うものだった。ここで兼平さんは改めて

卒業生 Interview

アスレチックトレーナー

24期生
兼平 智孝さん

【Profile】

かねひら・ともたか。1984（昭和59）年5月18日生まれ。岩手県出身。岩手県立黒沢尻北高校卒業。総合学園ヒューマンアカデミー仙台校スポーツカレッジスポーツトレーナー専攻、自由が丘短期大学通信教育課程ビジネス教養コース卒業後の2006年4月、鹿屋体育大学体育学部体育・スポーツ課程に3年次編入学。2008年3月卒業。株式会社H-Field代表取締役。JSPPO-AT、CSCS、NSCA-CPT、NASM-PESなど20以上の資格を有す。JOC医科学強化スタッフ、東北大学非常勤講師も務める。

正哉ATと共にトレーニングをする様子取材したことがあるが、咲花正哉氏だけでなく、阿部勝彦氏も花形ATとしてこの世界では注目を浴びる存在だった。

兼平さんが目指したのは、こうした傷害を負った選手のケアからリハビリ、さらに強化までの過程をサポートするATだった。栄養からトレーニングまで米国の日本に資格を20以上も取得。ソフトテニス、サッカー、ラクロス、硬式野球などの選手をサポートするようになり、個人では、ソフトテニス初のプロとなった船水颯人、パリオリピックで銀メダルを獲得したスケートボード女子ストリートの赤間凛子にも寄り添ってきた。さらには2023年の中国杭州アジア競技大会では、ソフトテニス日本代表のトレーナーとして、国別、ミックス、男子個人の金メダル獲得を支える機会に恵まれた。

兼平さんはATの面白さをこう話した。「マイナスになっている部分をゼロにして、プラスにしていく過程ですね。選手に寄り添い、意見を交わしながらよい信頼関係を築き、最終的に結果に結び付けていくところです。ね。」

そしてついには昨年、自らの法人を立ち上げ、株式会社H-Field Sports Performance Centerの経営を始めた。目指すはアスリートのアスリートパフォーマンスの仙台版だ。その施設で、傷害の治療、リハビリ、さらには強化を行っていく。

さらに中学生向けにベースボールマガジン社で連載していたコラムを基に今年、本も出版した。この本は、まとめたという状態だ。

「今後はもう一つ組織を作って、子どもたちがのびのび身体を動かすスポーツができる仕組みづくりをしていきたいですね」と抱負を語る。

鹿屋で気づいた自らがすすむべき道。ひたすら走り続ける41歳だ。

兼平さんはATの面白さをこう話した。「マイナスになっている部分をゼロにして、プラスにしていく過程ですね。選手に寄り添い、意見を交わしながらよい信頼関係を築き、最終的に結果に結び付けていくところです。ね。」

その他、7月31日には「鹿屋体育大学スポーツインノベーション推進機構」の産学官連携に係る取り組みについてのセミナーを実施し、前田理事・竹尾賢二URA、鹿屋市の中倉俊郎課長に登壇いただき、鹿屋市との連携内容等について紹介しました。

ブースでは、「スポーツインノベーション推進機構」の紹介を中心に、受託・共同研究等の産学官連携に関する広報活動を行い、スポーツインノベーション推進機構の取組やセミナーに興味を持った来場者が多数訪れ、今後に繋がる研究や施設・設備に関する多岐にわたる質問でにぎわいました。



兼平さんがATを本格的に目指し始めた頃、米国のアスリートにスポーツ選手への怪我を治療し、そこからリハビリ、さらにはトレーニングを一貫して行う施設、「アスリート・パフォーマンス（現E-Xos）」が作られた。ここには米国のプロ選手だけでなくドイツのサッカー代表など世界中からトップアスリートが訪れていた。この施設には選手のリハビリとトレーニングをサポートするATたちがいた。筆者もここで2012年に腰痛を抱えていた室伏広治選手がロンドン五輪を前に咲花

8月20日、22日の3日間、高校生のための先進的の科学技術体験合宿プログラム「2025スポーツサイエンスキャンプ」が、鹿屋体育大学・スポーツ科学の最前線「From Genet to Goal」を開催しました。

本プログラムは、スポーツ科学が運動パフォーマンスの向上や国民の健康維持・増進に大きく貢献していることを理解してもらうことを目的に、毎年開催されています。今年も全国から多数の応募があり、選ばれた16名の高校生が参加しました。参加者はス

7月30日、8月1日、東京ビッグサイトで開催された日本最大のスポーツ・健康産業総合展示会「SPORTEC 2025」に本学の今年もブース出展を行いました。同展示会は、「スポーツ人口を増やし、スポーツ競技力向上と健康社会を実現する」をビジョンに掲げて盛大に開催され、3日間で約4万人が来場しました。

本学は国立大学唯一の体育系単科大学として、10年以上出展を続けています。今年度も前田明理事・副学長がSPORTEC実行委員会の副委員長を務めました。

ポーツ生理学、心理学、バイオメカニクスの講義を受け、それらの研究装置・設備を用いた実験を通して、スポーツや運動が人体に与える影響やその重要性について理解を深めました。

参加者からは、「スポーツ科学の分野を明確に知ることができた」「もっと視野を広げ、これからの競技生活に生かしたい」「将来は科学的視点からアスリートをサポートする仕事に就きたい」などの感想が寄せられ、充実した体験となりました。



「スポーツサイエンスキャンプ」を開催しました。

8月20日、22日の3日間、高校生のための先進的の科学技術体験合宿プログラム「2025スポーツサイエンスキャンプ」が、鹿屋体育大学・スポーツ科学の最前線「From Genet to Goal」を開催しました。

本プログラムは、スポーツ科学が運動パフォーマンスの向上や国民の健康維持・増進に大きく貢献していることを理解してもらうことを目的に、毎年開催されています。今年も全国から多数の応募があり、選ばれた16名の高校生が参加しました。参加者はス

ポーツ生理学、心理学、バイオメカニクスの講義を受け、それらの研究装置・設備を用いた実験を通して、スポーツや運動が人体に与える影響やその重要性について理解を深めました。

参加者からは、「スポーツ科学の分野を明確に知ることができた」「もっと視野を広げ、これからの競技生活に生かしたい」「将来は科学的視点からアスリートをサポートする仕事に就きたい」などの感想が寄せられ、充実した体験となりました。

ポーツ生理学、心理学、バイオメカニクスの講義を受け、それらの研究装置・設備を用いた実験を通して、スポーツや運動が人体に与える影響やその重要性について理解を深めました。

参加者からは、「スポーツ科学の分野を明確に知ることができた」「もっと視野を広げ、これからの競技生活に生かしたい」「将来は科学的視点からアスリートをサポートする仕事に就きたい」などの感想が寄せられ、充実した体験となりました。

まっすぐに。正直に。

たいかい
大波酒造株式会社
〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

〇飲酒は20歳になってから。
〇飲酒は楽しく、適量を。
〇妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
〇飲酒運転は法律で禁止されています。

Kubota 農業機械
株式会社
三木商会
http://www.mizuho.kubota.ne.jp
〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文
浄化槽の管理

水質安全に
全力投球

株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスがこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

闘いの記録

(令和7年8月～9月)

【陸上競技部】

■2025オールスターナイト陸上 秩父宮賜杯第65回実業団・学生対抗陸上競技大会 (8/9 神奈川/レモンガススタジアム平塚)

▽男子	800m	1位	岡村 颯太
▽男子	ハンマー投	1位	井上 康大
▽女子	三段跳	1位	山本 華
▽男子	走幅跳	1位	田邊 海士
▽女子	三段跳	1位	山本 華
▽男子	走高跳	4位	藤井 優作
▽男子	やり投	5位	田口 慶達

【テニス部】

■令和7年度九州学生夏季テニス選手権大会 (8/5～17 福岡/グロバルアリーナ)

▽女子	シングルス	1位	瀬戸根 愛玲
	ダブルス	1位	杉村、瀬戸根

■令和7年度全日本大学対抗テニス王座決定試合九州地区予選 (9/3～8 鹿児島/鶴池テニスコート)

▽女子		1位	鹿屋体育大学
-----	--	----	--------

【体操競技部】

■第79回全日本学生体操競技選手権大会(8/19～22 青森/青森県武道館)

▽男子	団体総合	5位	鹿屋体育大学
	種目別平行棒	3位	岡 倫太郎
	種目別ゆか	4位	馬場 中央
	種目別鉄棒	5位	杉山 諒将

【水泳部】

■第72回全国国公立大学選手権水泳競技大会 (8/7～8 高知/INOUE・東部スポーツパークくろしおアリーナ)

▽男子	50m自由形	1位	市村 優弥
	100m自由形	1位	市村 優弥
	200m自由形	7位	坂本 春空
	400m自由形	4位	岩切 斗吾
	100m平泳ぎ	2位	久保田 心愛
	100mバタフライ	4位	日米 健太
	200mバタフライ	6位	池嶋 祐仁
	200m個人メドレー	6位	佐藤 歩
	400m個人メドレー	8位	久保田 心愛
	4×100mフリーリレー	2位	杉浦 涼一
	4×200mフリーリレー	2位	杉浦 涼一
	4×100mメドレーリレー	3位	大塚 心
	総合	2位	坂本、市村、北村、岩切、日米、久保田、岩切、久保田、杉浦、池嶋、萬燈、市村、鹿屋体育大学
▽女子	50m自由形	3位	池嶋 心春
	100m自由形	3位	池嶋 心春
	400m自由形	3位	池嶋 心春
	100m平泳ぎ	3位	瀬津 菜々美
	200m平泳ぎ	3位	小松 千紗
	200m背泳ぎ	5位	黒田 絢子
	100mバタフライ	2位	小松 千紗
	200mバタフライ	1位	瀬津 優美香
	200m個人メドレー	1位	後野 真衣
	400m個人メドレー	4位	仲田 葵
	4×50mフリーリレー	1位	後野 真衣
	4×100mフリーリレー	3位	瀬津 菜々美
	4×100mメドレーリレー	1位	宮崎 未優
	総合	2位	松本さくら、宮崎 未優、松本さくら、池嶋、仲田、有村、宮崎、有村、仲田、瀬野、池嶋、鹿屋体育大学

■第101回日本学生選手権水泳競技大会 (9/4～7 東京/東京アクアティクスセンター)

▽男子	50m自由形	2位	市村 優弥
▽女子	200mバタフライ	2位	後野 真衣
	200m個人メドレー	7位	宮崎 未優

【柔道部】

■2025年度九州学生柔道体重別選手権大会 (男子68回 女子38回) (8/30～31 福岡/福岡武道館)

▽男子	90kg級	1位	中川 晃希
▽女子	48kg級	1位	平峯 夏鈴
	57kg級	1位	升澤 凜

■2025年度全日本学生柔道体重別選手権大会 (男子44回 女子41回) (9/27～28 東京/日本武道館)

▽女子	48kg級	2位	平峯 夏鈴
-----	-------	----	-------

【剣道部】

■令和7年度九州学生剣道優勝大会 (男子第72回/女子第48回) (9/6 福岡/粕屋町総合体育館)

▽男子		1位	鹿屋体育大学
▽女子		1位	鹿屋体育大学

【ヨット部】

■2025年度全日本学生シングルハンドレグッタ (8/29～31 愛知/豊田自動織機 海陽ヨットハーバー)

	ILCA6クラス	1位	黒田 美海
--	----------	----	-------

【漕艇部】

■第52回全日本大学ローイング選手権大会(9/3～7 埼玉/戸田ボートコース)

▽女子	シングルスカル	5位	清水 凜
-----	---------	----	------

【自転車競技部】

■第94回全日本自転車競技選手権大会トラックレース (8/22～25 静岡/伊豆ベロドローム)

▽男子	エリート	オムニアム	3位	梅澤 幹太
				※チームプリヂステンサイクリングとして出場 (以下、名前の右に※で表記)
	エリート	マディソン	3位	梅澤 幹太 ※
	エリート	スクラッチ	4位	梅澤 幹太 ※

エリート	ポイントレース	5位	梅澤 幹太 ※
			岩谷 勝村 ※
エリート	チームスプリント	3位	梅澤 幹太 ※
			岩谷 勝村 ※
エリート	チームパーシュート	1位	梅澤 幹太 ※
			岩谷 勝村 ※

▽女子	エリート	スプリント	8位	岩元 美佳
	エリート	スクラッチ	6位	加藤明日香
	エリート	1kmタイムトライアル	2位	岩元 美佳
				加藤明日香
				岩元 美佳
				加藤明日香

■文部科学大臣杯第80回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (8/29～9/7 千葉/TIPSTAR DOME CHIBA.群馬/群馬サイクリングスポーツセンター)

▽男子	オムニアム	1位	梅澤 幹太
	ケイリン	6位	梅澤 幹太
	4kmインディヴィデュアルパーシュート	6位	梅澤 幹太
			岩元 美佳
			加藤明日香
			岩元 美佳
			加藤明日香

	30kmマディソン	1位	梅澤 幹太
	タンデムスプリント	8位	梅澤 幹太
	チームスプリント	6位	梅澤 幹太
	4kmチームパーシュート	2位	梅澤 幹太

▽女子	総合	3位	岩元 美佳
	オムニアム	4位	岩元 美佳
	スプリント	5位	岩元 美佳
	1kmタイムトライアル	8位	岩元 美佳
	4kmインディヴィデュアルパーシュート	8位	岩元 美佳
			岩元 美佳
			岩元 美佳

	20kmマディソン	5位	岩元 美佳
	チームスプリント	2位	岩元 美佳
	ロードレース	8位	岩元 美佳
	総合	4位	岩元 美佳

【カヌー部】

■第61回関西学生カヌー選手権大会(8/7～11 兵庫/兵庫県水泳カヌー競技場)

▽男子	K-1 1000m	1位	島津 成彰
	C-2 1000m	1位	澤田 立花

■第61回全日本学生カヌースプリント選手権大会 (8/26～31 山形/月山湖カヌースプリント競技場)

▽男子	K-1 1000m	1位	島津 成彰
	K-2 200m	6位	河野 成玖
	K-2 1000m	5位	河野 成玖
	K-4 1000m	3位	河野 成玖
	K-1 Relay	1位	河野 成玖
	C-1 200m	3位	松本 皐暉
	C-1 1000m	8位	西 良偉
	C-2 1000m	1位	立花 澤田
			福島 松本
			美坂 山城
			山城 西
			松本、西、立花

	WK-1 500m	4位	川野 円子
	WK-2 200m	1位	川野 円子
	WK-2 500m	5位	上田 植木
	WK-4 500m	3位	土橋 植木
	WK-1 Relay	3位	新井、土橋、川野、植木
	WC-1 200m	3位	中道 綺華
	WC-1 500m	8位	中道 綺華

■令和7年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会 (9/9～14 石川/木場湯カヌー競技場)

▽男子	K-1 1000m	8位	島津 成彰
	K-2 500m	2位	島津 成彰
	C-1 200m	6位	松本 皐暉
	C-1 1000m	7位	立花賢太郎
	C-2 200m	4位	松本 武井
	C-2 500m	3位	西、澤田
	C-2 1000m	2位	西、澤田
	WK-1 1000m	7位	川野 円子
	WK-2 500m	2位	上田 植木
	WC-2 500m	2位	中道 綺華

※他団体選手と出場

▽女子	WK-1 1000m	4位	川野 円子
	WK-2 500m	2位	上田 植木
	WC-2 500m	2位	中道 綺華

※他団体選手と出場

▽混合	XK-2 500m	5位	島津、川野
		6位	村橋慶太郎
			※他団体選手と出場
			上野、植木
			福島 悠斗
			※他団体選手と出場
			松本、中道
			山城 翔
			※他団体選手と出場

【なぎなた部】

■第64回全日本学生なぎなた選手権大会(8/10 静岡/静岡県武道館)

▽女子	演技競技	3位	國光、城間
	試合競技 個人の部	ベスト8	城間こころ
	試合競技 団体の部	3位	鹿屋体育大学

【ウインドサーフィン部】

■2025年度全日本学生ボードサーフィン選手権新人戦九州支部予選 (8/2～3 大分/住吉浜リゾートパーク同沖合)

	テフ/293ヒギナークラス	1位	甲斐 広睦
--	---------------	----	-------

がやや落ち気味の中、でも、しっかりと優勝できたことは自分自身でも評価できる点だと思います。今後はシーズン終盤に入るため、1本1本のレースを大切に、良い形で締めくくられるように全力を尽くします。いつもたくさんの声援をいただき本当にありがとうございます。皆さまの期待に応えられよう、これからは精進してまいります」とのコメントが寄せられました。



下鶴隆央鹿児島市長と森教授

予防委員会」の委

殺を予防することが健

とコメントしました。

令和7年度市民健康づくり事業功労者表彰
本学の森司朗教授が受賞

森教授は10年以上上務めたことから、保健所事業協力者として表彰されました。



第72回全国国公立大学選手権水泳競技大会 女子12年ぶりの総合優勝!

8月7日～8日、INOUE・東部スポーツパークくろしおアリーナで「第72回全国国公立大学選手権水泳競技大会」が開催され、本学水泳部女子が12年ぶりの総合優勝を果たしました。水泳部女子主将の有村咲希さん(同4年、加世田高等学校・鹿児島)が女子200mバタフライ、市村優弥さん(同4年、北海高等学校・北海道)が男子50m自由形と100m自由形で大会新記録を更新しました。

頃から支えてくださる萬久先生に良い報告ができました。これから鹿屋体育大学の仲間と一緒に成長していきます」と喜びのコメントが届けられました。男子総合は2位、今大会で4年生の後野真衣さん(同4年、加世田高等学校・鹿児島)が女子200mバタフライ、市村優弥さん(同4年、北海高等学校・北海道)が男子50m自由形と100m自由形で大会新記録を更新しました。



セッケン920が岡村さん

父宮賜杯第65回実業団・学生対抗陸上競技大会「学部のトップレベルの選手たちが、この日だけ実業団と学生のオールスターチームに分かれて賜杯を目指します。男子800mで優勝した岡村さんからは「シーズン前半最後のレースでしたが、実業団の方々との交流は多くないため、とても刺激的で楽しいレースとなりました。調子が上がってきたので、これからも優勝を目指して頑張ります」とコメントが寄せられました。

秩父宮賜杯第65回実業団・学生対抗陸上競技大会 男子800mで岡村さんが優勝